

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	公民館運営審議会の開催					
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係	課長名	佐伯 芳幸

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1-2	5-3
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立	総 合 計 画 書 (ページ)	35	110

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ⁴	社会教育費	目 ²	公民館費	事業 ¹	中央公民館費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	------	-----------------	--------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 審議会委員	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 審議会委員数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 公民館事業の企画実施について審議できる。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 審議会への出席者数(延べ人数)
	③ そのために何をしましたか。 審議会の開催	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 審議会(含む大会参加)の開催回数

2 指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	12	11	11	/
	成果指標	②の数値	人	77	76	75	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
	活動指標	③の数値	回	9	10	9	/

3 経費	事業費(実績)		円				※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	各館経費に含まれる			
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人				
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円					
職員人件費(再任用)		円					
事業費+人件費		円	0	0	0		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 社会教育法(昭和24年)第29条に「公民館運営審議会を置く」と定められており、昭和46年、南街公民館開館時に条例化した。諮問機関として、広く住民の意思を反映させるという趣旨を持つ。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成11年、社会教育法改正により必置制でなく任意制になったが、当市では趣旨に鑑み条例存置の状況である。平成23年、社会教育法改正により、条例で基準を設け「学校教育及び社会教育の関係者」「家庭教育の向上に資する活動を行う者」並びに「学識経験のある者」から委嘱すると定めた。

仕 事 の 内 容	公民館運営審議会の開催			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業	係 課長名 佐伯 芳幸

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について		
	各館の利用者連絡会からも各1人ずつ選出されるため、各館の利用者の要望が反映できるので、各委員がパイプの役割を果たしている。		

6 市民協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 利用者の意見のさらなる把握を呼びかけていきたい。		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容		
	活発な意見が出され順調な審議会運営がされている。委員の選出について区分等の見直しを検討する必要があるが出てきている。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 早めの諮問で、十分な審議時間を確保していきたい。		
(3)(2)を踏まえた今後の課題 審議すべき事業について、検討する。			

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・周年事業（公民館50周年事業）の実施に伴う意見を積極的に提示していく。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・周年事業の実行委員を選出するにあたり、適任者の推薦などの意見を求めていく。		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。		経費 仕事の経費は維持する。